

## 常総広域圏内の ごみ・資源物の搬入状況

単位：トン

種別	平成24年度	平成23年度	増減率	
可燃ごみ	52,561	53,753	△2.2%	
不燃ごみ	8,934	12,958	△31.1%	
粗大ごみ	1,586	4,685	△66.1%	
資源物	あき缶	807	752	7.3%
	あきビン類	1,861	1,857	0.2%
	プラ容器	1,962	—	—
	ペットボトル	568	—	—
有害ごみ	83	67	23.9%	
生ごみ	849	793	7.1%	
合計	69,211	74,865	△7.6%	

私たちの家庭から出されたごみは、平成24年度から常総環境センターの新施設で処理され、これに伴い、ごみの分別の細分

化が図られました。市民の皆さんの取り組みにより、それまで「不燃ごみ」の中に含まれていた「ペット

ボトル」と「プラスチック製容器包装（プラ容器）」が資源として分別されていますので、不燃ごみが減少し、資源物が増加しています。

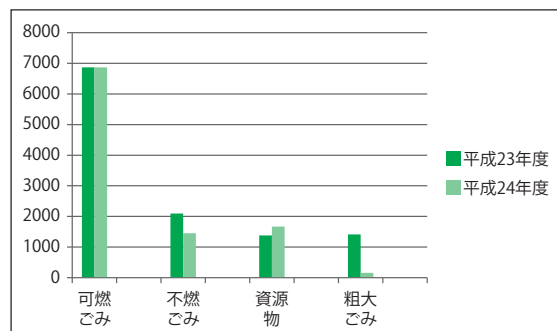
常総環境センターでは、つくばみらい市、取手市、守谷市、常総市から出されたごみを処理し、平成23年度と比較して7.6%の減量になりました。つくばみらい市で出されたごみの量を見ると、不燃ごみが645トン削減され、可燃ごみが2トン、資源物が292トン増加しました。粗大ごみについては、平成24年度から有料化されることから、平成23年度中に排出されたご家庭が多かったことで、大幅に増加していますが、平成24年度では、前年度比10分の1ほどに減少しています。

# 環境に優しい 快適なまちへ

### つくばみらい市の収集量の比較

単位：トン

種別	平成24年度	平成23年度	増減量
可燃ごみ	6,864	6,862	2
不燃ごみ	1,436	2,081	△645
資源物	1,655	1,363	292
粗大ごみ	141	1,394	1,253



### きちんと分別されたのに…

これまでの「不燃ごみ」から、資源物として分別された「ペットボトル」と「プラ容器」は、環境センターに運ばれた後、選別員が異物を取り除いていきます。資源物で出された物のリサ

イクル率は「ペットボトル」が約80%と高い数字なのに対し、「プラ容器」は約32%と低く、いまだにルールが守られていないのが現状です。資源物として回収された物のうち、リサイクルに適さない物は、約3分の2にも上りました。